

令和3年度 事業報告書

公益財団法人がん研究振興財団

令和3年度 事業報告書

1. 研究助成事業

(1) がん研究助成 (公募) 27,500千円

① がんに関する研究に従事する研究者又はそのグループを対象として研究助成した。(54回目)

○ 交付者: 25名 (1課題 100万円限度)

② 看護師、薬剤師、技師(放射線、検査等)、管理栄養士、放射線医学物理士、実験動物関係技術者、臨床心理士等の職種における実践的研究に対して助成した。

○ 交付者: 5名 (1課題 50万円限度)

(2) 海外派遣研究助成 (公募) 0千円

がんに関する国際会議、国際学会への出席者に対する海外旅費等の助成については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

2. 関係団体助成事業 1,000千円

UICC国内委員会の事業に対する助成を行った。

3. 技術者研修助成事業 (公募) 0千円

がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等に対する海外旅費等の助成については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

4. がんになっても生きる希望を持てる事業 (HOPE 事業)

「がん研究10か年戦略」による研究支援事項を継続的に推進していくため、幅広い研究分野における柔軟な発想を持った人材を研究領域に取り込むための戦略的育成等の研究支援を行った。

○ 若手、女性研究者の戦略的育成事業 (シニア・リサーチフェロー制度)
(公募) 15,000千円

交付者: 5名 (1名 300万円限度)

5. 「充実したサバイバーシップを実現する社会の構築をめざした研究」課題解決に向けた支援事業

「がん研究10か年戦略」の具体的研究事項として「充実したサバイバーシップを実現する社会の構築をめざした研究」が課題とされており、患者本人や家族が本来の生活の場所で暮らしていく過程で直面する様々な課題解決に関する研究支援を行った。

- がん研究助成（公募） 2,459千円
交付者： 5名（1課題 50万円限度）

6. 多様化する情報ニーズに対応するためエビデンスに基づいた国民への薬物療法等の情報提供支援事業（がん情報提供支援事業） 15,118千円

(1) 患者本位の「がん情報サイト」の開設

- 患者やその家族が信頼できる最新のがん情報が検索でき、利用しやすいシステムとして令和3年10月1日「患者本位の「がん情報サイト」」を開設した。

(2) がん情報冊子の作成

- がんの統計2022 4千部

7. 研究成果等普及啓発事業 10,922千円

シンポジウムの開催及びがん研究の成果を国民にフィードバックする観点から各種情報媒体を活用した普及啓発を行った。

(1) がんサバイバーシップ研究成果発表会

- 開催日 令和4年2月8日（火）
- 開催 オンライン形式

(2) 国際がん研究シンポジウム

- テーマ 全ゲノム解析が変革するがん研究・がん医療
- 開催日 令和4年3月26日（土）
- 開催 国立がん研究センター大会議室（ハイブリッド形式）

(3) がん関連パンフレットの作成配布

- かんたんレシピ2022 5千部
- 改訂版がん治療と食生活 10千部

8. 広報活動事業（一般財団法人日本宝くじ協会助成事業） 25,160千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、自治体、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

（冊子名）

○「やさしいがんの知識」

（肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）

1,418千部

○がん検診

1,636千部